



平成 19 年 5 月 28 日

各 位

会 社 名 日本工業検査株式会社  
代表者名 代表取締役社長 林 弘  
(JASDAQ・コード 9784)  
問合せ先  
役職・氏名 取締役管理本部長 菅野 毅  
電 話 044 - 366 - 6000

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年2月16日に公表いたしました平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の連結及び個別の業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1．平成 19 年 3 月期 通期連結業績予想の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	8,200	640	310
今 回 修 正 予 想 ( B )	8,325	802	413
増 減 額 ( B - A )	125	162	103
増 減 率	1.5	25.3	33.2
前 期 ( 平 成 18 年 3 月 期 ) 実 績	7,828	557	407

#### 2．平成 19 年 3 月期 通期個別業績予想の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	7,900	560	310
今 回 修 正 予 想 ( B )	8,017	731	418
増 減 額 ( B - A )	117	171	108
増 減 率	1.5	30.5	34.8
前 期 ( 平 成 18 年 3 月 期 ) 実 績	6,869	467	414

### 3. 修正の理由

#### (1) 連結業績

通期予想の売上高につきましては、検査部門が引き続き好調であり前回予想を上回る見込みであります。

検査部門は、各石油・石油化学関連の各種検査、屋外貯蔵タンク等各種タンクの開放検査、LNGのサテライト基地の建設に伴う各種検査や、ガス・パイプラインの新設工事に伴う検査など順調に推移いたしました。

計測部門は、既存および新設の免震装置関連の点検調査、構造物や地盤の振動計測、J R・重工関連の振動・応力測定が好調に推移いたしました。一方、高速道路、一般道路の鋼製橋脚の補修・補強に関連した計測は下半期から一部工区が終了に近づき売上が減少いたしました。

焼鈍部門は、石油・石油化学プラントの定期点検工事において全国的に配管熱処理工事を施工するなど好調に推移いたしました。

利益面につきましては、検査部門の受注が好調であり売上高が前回予想を上回ったこと、受注増による検査員の稼働率が上昇したことによるコストの低下、および価格改定の効果が徐々に顕現されてきたこと等により経常利益・当期純利益ともに予想を上回る見込みであります。

#### (2) 個別業績

個別業績予想の修正の理由は、連結業績予想の修正の理由に記載のとおりであります。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上